

平成三十年度

玉東中学校便り

文責 田河
第8号

平成三十年十月五日

希望の虹



久々の外での写生大会

九月二十七日(木)快晴の下、写生大会を実施しました。ここ数年間はたまたまの雨天続きで、なかなか屋外での実施ができず、特に現三年生は中学入学後初めて屋外での写生大会となりました。今年はみんな夏休みや美術の授業の時間を使って場所や構図の選定を済ませていましたので、比較的スムーズに取りかかることができていましたし、なかなかの出来映えだと思います。

この後、美術の時間などで仕上げていきますが、全ての作品が文化祭において展示されますのでご覧ください。また職員の仕事もかなりの力作になったようでした。



薬物乱用防止キャンペーン

十月五日(金)登校時、玉名ライオンズクラブ様の啓発活動の一環として、薬物乱用防止のための取組「ダメ、ゼッタイ」運動のチラシ配りがありました。薬物乱用は大きな社会問題の一つです。「麻薬」や「覚醒剤」のみならず最近では「脱法ドラッグ」や「MDMA」等の合成麻薬の害が叫ばれています。

また以前と違う恐ろしい所はSNS等の普及により、これらがごく簡単に手に入るようになったことです。私たちが欺くために「やせ薬」や「疲れがとれる」などと言葉巧みに近寄ってくると言われます。

薬物の恐ろしさは依存性にあり、一度手を染めたら、なかなか抜け出せない点にあります。これらの薬物にはけっして手を出さない強い意志をもつことになるよう中学生のうちから教育することと薬物が流通しない環境づくりを進めなければなりません。

薬物乱用「3ない宣言」

持たない・やらない・近寄らない



前期を振り返って

本日の終業式で平成三十年度の前期が終了しました。今年度は学校教育目標「自他を認め、主体的に学び合う生徒の育成」に助けあい、励ましあい、志高く「」の達成に向けて、全校生徒、全職員で力を合わせて頑張っています。前期は学校生活のいろいろな場面で互いに認め合い、学び合う姿をよく目にしました(生徒も職員も)。けっして馴れ合いもたれ合いではない、志を高く持った関係性が構築出来つつあると思います。「水は低きに流れる」と言いますが、玉東中では逆に全員が高みを目指して、「互いに高め合い、引き上げ合う」集団になれるよう努力しています。一年生も半年間で随分中学生らしく成長しました。後期は更に中学生としての自覚のある行動・言動を期待します。二年生はこの後、修学旅行や生徒会の交替、立志式と大きなイベントが目白押しです。行事等を通して更に成長しましょう。また三年生はいよいよ進路決定の最終盤にさしかかります。体調管理をしっかりとしながら目標達成に向けてラストスパートです。「頑張ろう。玉東中」

心の栄養となる言葉⑰

気が狂いそうな単調さに耐え抜き、弱音を吐きたがる自分に打ち克つ以外にない。進むこと、ひたすら前へ進むこと。

植村直己(冒険家)

(十代のための座右の銘 大泉書店より)